

災害時等園児・児童の『引き渡し避難』マニュアル

一般社団法人アソビプラス
代表理事 齋藤 太郎

◆はじめに◆

本マニュアルは、本スクールの会員（その保護者を含む、以下同じ）に適用します。
会員であった方や、新たに会員になろうとする方についても同様の範囲で適用します。

子どもたちを取り巻く安全面の状況は自然災害、人災を問わず、大きく変化しています。
阪神淡路大震災以降、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、また大阪でも被害の大きな地震が立て続けに発生し、南海トラフ地震は明日に起きてもおかしくないと言われています。
また世界的な気候変動や温暖化の影響なのか、台風が観測史上初めてのコースを辿り、東北や北海道で大きな被害が生じたり、豪雨や線状降水帯と呼ばれる、50年に一度100年に一度の大雨が全国各地で何度も降り、大きな被害をもたらしています。

『全てのかげがえのない子どもたちの命を守る』一助として本マニュアルを作成しました。

◆1. 目的◆

非常時に、園児・児童を保護者に安全かつ速やかに引き渡すことを目的とする

◆2. 実施するケース◆

- (1) 大規模な自然災害（地震、豪雨等）が発生し、園児・児童を自分達で帰宅させられない場合
- (2) 不審者が施設に侵入し、逃亡・確保に関わらず、園児・児童に心理的動揺等がある場合
- (3) 近隣地域で凶悪事件等が発生し、犯人が逃走中で、園児・児童に危害が及ぶ恐れがある場合
- (4) その他、適当と判断する場合

◆3. 引き渡し場所◆

リトルバード保育園又は一般社団法人アソビプラス（原則）

◆4. 引き渡し手順◆

(1) 本スクールの講師が在籍確認を行った上で保護者様に引き渡し。その際、保護者様より本スクールのLINEに【引き渡し完了】と1通LINEメールをお送りください。

(2) 実施の場合

本スクールのLINEからメールを配信します。メール機能が使用不可の場合は、電話連絡網を使用します。
全ての連絡手段が使用不可の場合は、引き渡し場所で待機させ、保護者様の判断とお迎えを待ちます。

※お迎えに来られるまでは、何時になっても本スクールの引き渡し場所で待機させます。

子どもだけで帰宅させることはありません。

◆災害用伝言ダイヤルの利用方法◆

本スクールでは使用出来る状況であれば全ての連絡手段が使用不可の場合は、災害用伝言ダイヤルを使用します。その際の電話番号は『022-233-2525』に伝言を残します。

大災害発生時には、安否確認・問合せ等の電話が爆発的に増加し、電話回線が混雑することで保護者様との連絡が困難になることが予想されます。そこで、保護者様への対応としてNTTが設置する『171（災害用伝言ダイヤル）』を利用する事でお子様の安否情報等の伝達を図ります。

1. 位置のお知らせ

震度6弱以上の地震発生時等にテレビやラジオ等でNTTが『171』を設置したことや利用方法・伝達登録エリア（都道府県単位）等が知らされる。

2. 利用方法

固定電話や携帯電話等のあらゆる電話から接続・利用が可能となる。

(1) 伝言の再生【保護者様】

